

北砂小学校 研究だより

2026

No. 1

令和8年6月1日（月）
研究主任 木本 晴奈

今年度も研究主任を務めさせていただきます、5年1組担任の木本晴奈です。

昨年度より始めたSTEAM教育の実践を通して、児童の成長を支えていけたらと思っています。

保護者のみなさま、地域のみなさま、ご協力をよろしくお願いいたします！



今年度もよろしくお願ひします！

昨年度「総合的な学習の時間をもっと充実させたい！」という思いから始まったSTEAM教育の実践でしたが、取り組んでいる学校はまだ全国でも珍しく、あまり実践例がないため、試行錯誤の連続でした。そんな中でも、先生方とたくさん考えて話し合っただけで、一歩ずつ前に進んできました。講師の北澤先生、田中先生、斎藤先生にも寄り添っていただき、北砂小の研究を導いていただきました。

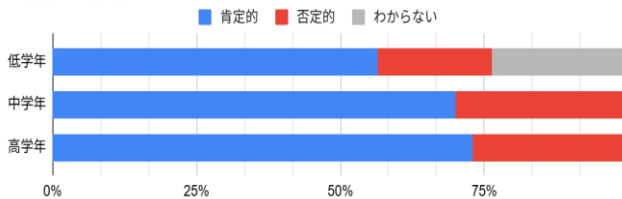
今年度も江東区の研究協力校2年目として「STEAM教育」の実践をしてまいります。昨年度の実践をさらによいものに改良したり、昨年度の実践から得た成果と課題をもとに新たな挑戦をしていけたらと思います。

講師の先生は、昨年度に引き続き3名の先生にお世話になります。あわせて、昨年度お世話になった企業様や新たな企業様との連携も強めていきます。

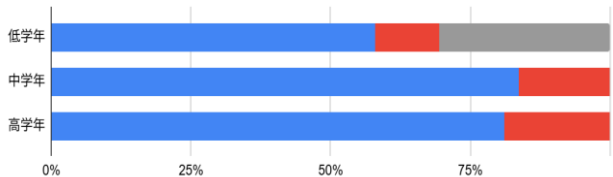
今年度もこの研究だよりを通して、保護者、地域の皆様に北砂小が取り組んでいることをお伝えしていきたいと思っています。昨年度、学年の違う保護者の方からも話しかけていただくなどして、保護者の方と意見交換をすることができました。興味をもち、一緒に考えていただけること、本当にありがたいです。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

児童向けに行ったアンケート分析結果をご紹介します！

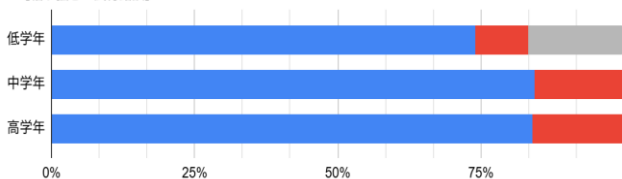
1. 【発見・課題意識】



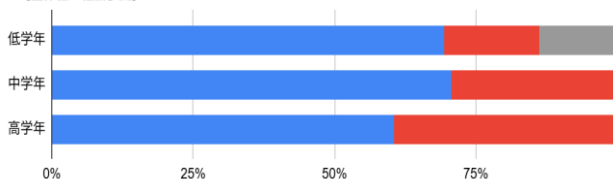
4. 【協働・対話】



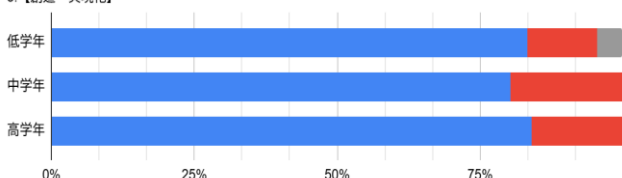
2. 【粘り強さ・試行錯誤】



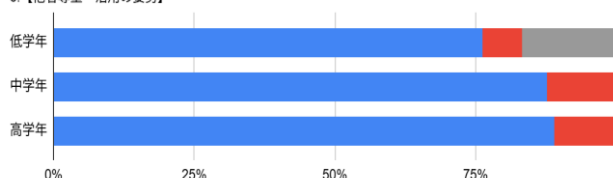
5. 【主体性・社会参画】



3. 【創造・具現化】



6. 【他者尊重・活用の姿勢】



北砂小学校 研究だより

未来をまっすぐする児童の育成
～STEAM教育の実践を通して～

2026

No. 1

アンケートの設問

★昨年度末に児童向けに行ったアンケートの分析結果です。

1. 全体傾向の分析

・【創造・具現化】の強さ（全学年共通の成果）

3. 【創造・具現化】に関する肯定率は、低学年（約83%）、中学年（約80%）、高学年（約84%）と、全校を通して非常に高い水準を維持していると言えます。

・【主体性・社会参画】のギャップ（高学年の課題）

5. 【主体性・社会参画】において、高学年は他の項目に比べて肯定率がやや下がります。（約60%）
「知識として知っている」が、「自分ごととして参加できている」という実感までは、あと一歩という現状であると言えます。

2. STEAM教育の観点

① Engineering& Artsの定着

3. 【創造・具現化】および7. 自由記述の項目から、積極的に取り組んでいることがわかります。
低学年→自由記述に「図工科」「生活科」「おもちゃ作り」が多く挙げられており、素朴な創造活動が知的な好奇心を支えています。

中・高学年→「スクラッチ（プログラミング）」「メタコルの環境に優しい釣竿の企画書作り」など、単なる工作から「設計・企画」へと高度化しており、エンジニアリング・デザインの要素が授業に組み込まれている成果が見られます。

② 対話的な学びの基盤形成

4. 【協働・対話】の低学年の肯定率が約58%に比べ、中学年・高学年では肯定率が70～80%台と高くなっています。STEAM教育で重視される「対話的な学び」が、学年進行とともに機能していると言えます。

	低学年	中学年	高学年
1	1. まわりのできごとやしぜんをみて、「なんでだろう?」とおもったことがありましたか。	1. 身近なこと（学校や家、地域）で、「なんとかしたい」と思う課題を見つけることができましたか。	1. ニュースや授業で知った社会や地域、地球の問題について、自分の意見や考えを友達や先生などに伝えることができましたか。
2	2. 「これやってみよう!」とおもったら、ほんとうにやってみることができましたか。	2. 失敗しても、何度も確かめながら学ぶことができましたか。	2. 失敗しても、「どうしてうまくいかなかったんだろう?」と考えて、もう一度やってみようとしたか。
3	3. ものをつくったりうごかしたりするペンキょうのとき、いつもわくわくしていましたか。	3. 「こうしたらどうなるかな?」と、自分のアイデアを形にすることに挑戦できましたか。	3. ノートや鉛筆、タブレットなどを使って、自分の考えを実際に形にすることができましたか。
4	4. ともだちとちからをあわせて、むずかしいことをかいつつすることができましたか。	4. 友だちや先生の意見を聞いて、自分のやり方をより良くしようと思いましたか。	4. 異なる考えを大切にしながら、友達といっしょに自分たちの未来を考えることができましたか。
5	5. じゆぎょうでペンキょうしたことを、もっとしりたいとおもいましたか。	5. 日常生活の中で課題を見つけ、自分で工夫して解決しようと思いましたか。	5. SDGsや地域の活動に、自分ごととして考え、参加することができましたか。
6	6. ともだちとなかよく、さいごまでがんばることができましたか。	6. 友達のちがう意見や考えを「なるほど」としっかり聞くことができましたか。	6. 今回の学びを、次の授業や日常生活に活かしたいと思いましたか。
7	7. ぜんきのペンキょうで、いちばん楽しかった・わくわくしたことはなんですか?（かけるひとはかいてみてください）	7. 前期の学習で、いちばん楽しかった・わくわくした活動は何ですか?	7. 前期の学習で、いちばん楽しかった・わくわくした活動は何ですか?

北砂小学校 研究だより

未来をそつぞうする児童の育成
～STEAM教育の実践を通して～

2026

No. 1

教員の1年間の振り返り

昨年度2月中旬に講師の先生方をお招きして、1年間のまとめを行いました。「STEAM教育とは？」から始まった昨年度の北砂小学校の校内研究。教員がどんな振り返りをしたか、ご紹介します。

【成果】

・主体的な探究と試行錯誤の促進

多くの学年で、児童が「夢中」になって試行錯誤を重ねる姿や、主体的に協働学習に取り組む姿が見られた。特に「すぐに答えが出ない問い」の設定や、児童の「もっと～したい」という願いに応じたグループ化が、探究心を引き出す鍵となった。

・教科横断的な学びの実現

国語、音楽、社会、理科などの各教科の学習が、サイエンスやアート、エンジニアリングといったSTEAM要素と効果的に結びつき、教科の枠を超えた学びが展開された。

・ICTの有効活用による学びの深化

タブレットを用いた図鑑の拡大、Padletによる製作過程の記録、音楽ソフトでの創作など、ICTを活用することで試行錯誤や意見交換が促進された。

・現実社会や自分事との関連付け

企業連携や地域調査、地球温暖化といった社会課題をテーマにすることで、学びを自分事として捉える工夫がなされた。

【課題】

・教科の基礎知識・原理との関連付け

理科の原理や社会科の背景知識など、各教科の本質的な学びとSTEAM活動をどうバランス良く結びつけるかに課題が残った。

・目的の明確化と問いの設定

「誰のために、何のために」という探究の目的をより明確にする必要があり、児童が自ら課題を解決していけるような、より深い「探究的な問い」の精査が求められている。

・成果の可視化と評価（振り返り）

活動が「空想」や「やりっぱなし」にならないよう、削減できた二酸化炭素量や影の面積などの定量的な数値化（Mathematics）や、成功の根拠を共有する振り返り時間の確保が必要である。

・発達段階に応じた支援と持続可能性

低学年における自由度と指導の線引きの難しさや、外部企業との連携をいかに継続可能なものにしていくかというカリキュラムマネジメント上の課題が浮き彫りになった。

北砂小学校 研究だより

未来をそつぞうする児童の育成
～STEAM教育の実践を通して～

2026

No. 1

保護者の皆様より

毎回この研究だよりにのせていたアンケートフォームに保護者の皆様よりご感想いただきておりました。ご紹介させていただきます。

STEAM教育についての発信ありがとうございます。様々な学びに触れられる機会を公教育でもチャレンジし、それを報告して頂けることで学校の取り組みの様子を知れて助かります。子供から様子を聞いても、まだ、言葉で表現するのが難しい事もあるのなどの様な学びをしているかを知れるからです。この様な取り組みを通して、子ども自身が知見を広げ、興味が広がる事を楽しみにしています。

いつもあたたかいご感想をお寄せいただきありがとうございます♪
今年度も毎回研究だよりに掲載しますので、保護者の皆様、地域の皆様の中で、「STEAM教育に興味があります!」「授業の様子を見てこんな感想があります!」「こんな取り組みはどうですか?」「こんなことで協力できそうですね!」などあれば、お話をお聞かせいただけたら嬉しいです。



今後の予定は？

今年度は、江東区の研究協力校2年目ということで、研究発表会があります。区内外の先生方が400名ぐらい北砂小に来校し、授業を参観したり本校の実践の報告を聞いたりする会です。現段階の年間の計画は以下の通りです。

まずは6年生の授業から始まりました。実践の様子はまたこの研究だよりでお知らせできればと思います。ぜひぜひご覧いただけたら嬉しいです!!

今年度もどうぞよろしくお願いします!

4	2	木	全体会
5	1	金	全体会
5	29	金	6年 授業研究①
6	5	金	専科 授業研究②
6	15	月	2年 授業研究③
7	2	木	3年 授業研究④
7	13	月	1年 授業研究⑤
8	27	木	全体会
9	10	木	4年 授業研究⑥
9	24	木	5年 授業研究⑦
12	11	金	研究発表会